令和７年度　指定管理者モニタリング報告書

施　設　名	加東市やしろ鴨川の郷
施設所在地	加東市上鴨川１０６１番地１００
指定管理者	名　称　鴨川の郷協会 代表者　会長 [redacted] 住　所　加東市上鴨川１０６１番地１００
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握した。 次のとおり、具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載した。
担　当　課	産業振興部　商工観光課　電話　０７９５－４３－０５３０ 担当者氏名　竹内　誠彦・上月　慧太

１　総合コメント

事業の遂行は適正であり、来場者からのアンケートも概ね好意的な結果となっている。
顧客ニーズを踏まえたイベントの開催や、本館のアメニティを常設した。
SNSの影響で夏の利用者が増え、前年度比で全体の収益は増収となったが、暦の影響もあり、年間を通しての利用者は減少した。
また、施設の目的である地域活性化に向けて、イルミネーションイベント、市民が栽培した野菜の販売やグラウンドゴルフ等で継続的な利用促進を図っていただきたい。加えて、SNSやメディア等での情報収集や各イベント、ワークショップでの宣伝を行い、やしろ鴨川の郷の特徴・良さの認知度を高め、利用者及び収益の拡大を図っていただきたい。

２　今後の改善に向けた考え方

利用者数が昨年度より減少したため、引き続きSNS等を活用し利用者の回復を図っていただきたい。中でもキャンプ場利用、閑散期の誘客強化に寄与する施策を期待する。

３　業務の履行状況について

協定書・仕様書で定められた項目について、適正に履行できている。

４　サービスの質について

利用者アンケート結果によると、職員の接客態度・事業内容の評価は概ね良好であった。
適切な施設管理とともに、利用者の満足度向上に努め、顧客ニーズを踏まえて、本館のアメニティの常設や、まな板を更新するなどサービス向上に努めた。

５　収支状況等について

InstagramやTikTok等の影響で料金設定の高い時期の集客に成功したこと、自主事業が好調なことによって収益は昨年度より回復した。また、水道光熱費の節約による経費削減にも努めたが、暦の影響もあり利用者数が減少した影響が大きく単年度収支はマイナスとなった。

今後、最低賃金の改正や物価高騰になどによる支出の増加が見込まれるが、次年度は新たな事業の提案などにより、収益の増加を図り、経営の安定化を図っていただきたい。